



兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
電話：(078) 612-5151
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

かけはし

2016年10月発行

No. 58



C型肝炎治療におけるこれからの課題

副院長 キンスギ
金秀基

●神戸朝日病院での勤務をスタートしてから早くも半年が過ぎました。4月から阪神タイガースに倣い“超変革”を掲げて、全職員が協力して病院の活性化に取り組んできております。今後も引き続き、病院の成長スピードを更に上げながら、来院していただく患者様のお役に立てる病院、地域の皆様に愛される病院を創っていく所存です。なお、院内CS向上委員会（Customer Satisfaction=顧客満足）の取り組みとして「患者様アンケート調査」を11月に実施する予定です。すべてのご回答やご意見を真摯に受け止め、業務改善に一層努めて参りますので、ご協力いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

●さて、今号ではC型肝炎治療におけるこれからの課題について述べさせていただきます。

●これまでの肝臓病診療において最大の課題であったC型肝炎ですが、飲み薬だけで治すという画期的な治療法が開発・導入され、現在も続々と新規C型肝炎経口治療薬が登場しております。ウイルスの型や薬剤耐性などによって差はあるものの、ほぼすべての患者様が大きな副作用無くC型肝炎の治療を目指せる時代になったといっても過言ではありません。更に、国の医療費助成のサポートもあることから、まさに今こそC型肝炎の治療を受けるのに最も適したタイミングと言えるでしょう。

●しかし、ある全国調査によりますと、C型肝炎治療中の患者様が約47万人である一方で、感染を自覚していないC型肝炎感染者の方が約30万人、C型肝炎に感染していることを知っているものの治療を受けていない方が約25万人～75万人にのぼるとされています。つまり、最大100万人近くの方がC型肝炎に感染していながら、治療の機会を得

られていないことになるわけです。この問題を解決するには、まずは患者様にC型肝炎に対する知識を持っていただくことが必要となります。そして地域のかかりつけの先生方と連携しながら、まずはウイルス肝炎の検査を受けて頂くこと、C型肝炎感染が判明した場合には肝臓専門病院で適切な治療を行うことが求められます。C型肝炎治療の治療体系が確立された今だからこそ、最新の医療情報を患者様に提供する広報活動や、医療圏内での各医療機関の間での診療ネットワークの構築がますます重要になってきております。

●また、C型肝炎治療終了(著効)後、肝炎ウイルスが排除された状態(専門用語でSVR=Sustained Virological Responseと呼ばれます。)が得られても、まれならず肝発癌を認めることがあります。C型肝炎罹患中にダメージを受けた肝細胞が肝癌の発生母地になり、肝炎ウイルスが消えてからも発癌の可能性が残るのです。ですから、C型肝炎治療後も定期的に受診し、採血(腫瘍マーカー)や、CTやMRI、超音波などの画像検査を通じて、肝発癌のチェックを受けることが必要となります。

●神戸朝日病院は今後も肝疾患専門医療機関として、最新の知見を取り入れながら上記の課題に取り組み、未治療の患者様への対応や治療後の患者様のフォローアップも含めた最善のC型肝炎治療を行っていきます。そして、さまざまな機会(※)を活かして、患者様への啓蒙活動を行い、地域の先生方との連携を図りながら、特に西神戸地域のC型肝炎診療、さらには肝疾患診療の底上げに貢献していきたいと考えております。

(※ 次ページに講演予定)



今年度

金 秀基副院長の講演 (ラジオ・インターネット出演) 予定



- 7月13日** (済) ラジオ関西『三上公也の情報アサイチ!』(アッヴィ合同会社提供)
「C型肝炎という病気や新しい治療法について」
- 9月15日** (済) 兵庫県病院薬剤師会学術講演会
(兵庫県病院薬剤師会東神戸支部、兵庫県病院薬剤師会西神戸支部、大日本住友製薬株式会社 共催)
「これからの肝臓病～脂肪肝の最近の話題～」*
- 11月配信予定** 大塚製薬 Web サイト『eライブラリ Samsca Voice』*
- 11月17日** 西神戸消化器疾患講演会 (ギリアド・サイエンシズ株式会社主催)
「脂肪肝に由来する肝発癌メカニズム～遺伝子解析からのアプローチ～」*
- 11月24日** 西神戸消化器疾患セミナー (MSD 株式会社主催)
「C型肝炎ウイルス排除 (SVR) 後の発癌ポテンシャル」*
- 12月3日** 西神戸エリア肝疾患診療連携セミナー (アッヴィ合同会社主催)
「これからの肝臓病～脂肪肝をどう診るか～」*

*医療関係者向けとなっております



兵庫県より 救急医療・救急業務功労者 の表彰を受けました!



この度、当院は兵庫県より「救急医療・救急業務の推進に貢献し、公共の福祉の増進に顕著な功績があった団体」として、“救急医療・救急業務功労者賞”を受賞、9月9日救急の日には、兵庫県公館にて表彰式がありました。

兵庫県では、全ての県民が生涯を通じて健康でいきいきと暮らせる安全安心な健康福祉社会の実現を目指し、その具体的施策として、医療確保と健康づくり、中でも医療体制の整備を重視しています。その一環として救急医療・救急業務の推進があり、当院が28年前の開院当初より救急告示を行い、二次救急医療機関として現在も月に8回から10回の二次救急輪番を担当しているという取り組み姿勢が評価されたものです。

これからも、地域の医療機関、消防局と連携を取りながら、救急医療に取り組んでまいります。

当院における「地域包括ケア病棟」のご紹介

- 当院では、7月より「地域包括ケア病棟」をオープンしました。
- 通常、急性期治療を終了し、病状が安定すると主治医から退院の許可が出ます。しかし、すぐに自宅や施設に戻ることに不安のある方、もう少しリハビリの継続や在宅への準備が必要な方に、地域包括ケア病棟のご提案を行います。「地域包括ケア病棟入院診療計画書」に基づき、主治医をはじめ看護師、専従の理学療法士、医療ソーシャルワーカー、その他メディカルスタッフが協力し、退院支援を行っていきます。
- 地域包括ケア病棟では、退院支援の一つとして「ADL 低下予防・認知機能低下予防」のための取り組みを行っています。例えば、ラジオ体操、筋力維持・筋力アップ体操、嚥下体操、手遊び、歌、ゲーム、しりとりなどで、患者様が楽しみながら参加できるように、スタッフ一同、工夫をしながら取り組んでいます。患者様の中には、今まで会話も出来ず、寝たきり状態だったことがうそのように、スタッフや他の皆様と一緒に歌ったり、体を動かしたりできるようになられた方もおられます。
- 9月30日には、地域包括ケア病棟の担当科長が健康いきいきサロンでこうした取り組みを紹介しました。短時間ではありましたが、参加者の皆様と一緒に、普段、実際に病棟で行っている体操を体験していただきました。
- これからも当院は、地域の皆様に寄り添い、単に病気を「治す」に留まらず、「治し、支える」という医療と介護を一体化して提供できる病院を目指していきます。



ラジオ体操の様子



懐かしい唱歌をみんなで合唱♪
笑顔がこぼれます

ブロッコリーの チーズ白和え



- ブロッコリーは、通年安定して流通していますが、本来最も美味しい旬の時期は晩秋の11月頃から3月頃です。ビタミン、ミネラルを豊富に含んでいて栄養的に大変優れた野菜です。
- その中のビタミンKは、骨からのカルシウムの流出を抑え、骨を丈夫にする働きがあります。カルシウムを多く含む乳製品と組み合わせると、骨粗鬆症予防に効果があります。
- 今回は、乳製品が苦手な人でも食べられるよう、カテージチーズを使った白和えをご紹介します。たらこのビタミンDと合わせ、より効果をアップさせました。

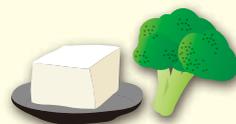
■栄養量(1人分) エネルギー：127Kcal、カルシウム：101mg、
ビタミンK：128μg、食塩：1.1g

材料(2人分)

ブロッコリー：150g(約1/2株)
木綿豆腐：100g
カテージチーズ：100g
たらこ：20g

作り方

- ①木綿豆腐はゆでて水切りしておく
- ②たらこは薄皮を取り除いておく
- ③ブロッコリーは小房に分けゆでておく
- ④すり鉢で①の豆腐とカテージチーズをすり合わせ、②のたらこを混ぜておく
- ⑤③のブロッコリーを④の和え衣で和える



あさひの仕事人 vol.8

番外編 警備員さん

- 2016年4月に始まった神戸朝日病院の「超変革」の取組みのひとつに、常駐警備員の導入があります。
- 病院は不特定多数の方が利用する施設であり、患者様だけでなくお見舞いの方、医療関係者の方などさまざまな方が出入りします。患者様、職員の安全、安心のため、8月から24時間の常駐警備を開始しました。
- 現在、3名の警備員さんが交代で警備にあたっています。外来診療を行っている時間帯は、玄関で立哨、誘導などを重点的に行い、午後、夜間は、院内の定期巡回を行っています。緊急時、院内PHSで呼び出すと、すぐに駆けつけてもらえる心強い存在です。



「あさひの仕事人」は病院で働くさまざまな職種について紹介するシリーズです。

編集後記

一昨年より、院長の意向を受け“CS(顧客満足)向上委員会”を発足し、院内あげて職員の接遇マナーの向上、患者様にご安心、ご満足いただける環境づくりに取り組んでいます。具体的には、特に改善が急がれる内容を挙げ、ひと月毎のテーマ(スローガン)とし、毎朝唱和することで意識付けをし実行促進をしたり、DVD接遇研修をしたり、と様々に工夫と努力を重ねています。11月に(予定)、患者様満足度調査アンケートを実施して、ご意見を頂戴し、活動に取り入れてまいりたいと考えておりますので、その折には、ご協力をお願いいたします。地域の方々に信頼感・安心感を持って頂ける、また患者様のニーズへの適切な対応ができる病院づくりを目指します。(文書課 松井 未佳)

認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定(神戸大協力型)
- 日本医療薬学会研修施設
- 薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協会NST稼働認定施設

交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑪⑩
「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

